

令和2年7月31日

保護者の皆様

文京区立礪川小学校  
校長 河瀬 正

## 通知表の評価について

6月の分散登校から2ヶ月、子供たちも学校生活のリズムを取り戻し、毎日を生き生きと過ごしています。1学期間は、休校中の学校からのお願いや学校連絡日や来校日、電話連絡、ZOOMミーティング、分散登校、保護者会、給食再開等、様々なお願いにご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、本日子供たちに通知表をお渡ししました。本校では、「評価」について、以下のような考え方に基づいて進めていますので、ご確認ください。文京区の方針により、本年度も学期ごとの通知表をお渡します。1学期の通知表の評価については、新型コロナウイルス感染症防止のための休校により、各学年ともに6月、7月の学校の様子を中心とした評価となります。授業を欠席した場合や感染症対策のためにできなかった学習は、評価できない項目もあることをご了承ください。所見に関しましては、約2ヶ月という短い期間で見取った子供たちの様子について、総合的な記述をさせていただきます。

### 学校教育目標

自分を生かし、人を大切にする子を育てる。

- ・自ら考え学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・ねばり強くやりぬく子
- ・たくましく元気な子

### 学習指導要領（文部科学省）

「生きる力」をはぐくむ

- ・確かな学力
- ・豊かな心
- ・健やかな体

※知・徳・体を調和的にはぐくむこと

※変化の激しいこれからの社会を生きる子供たちには、「生きる力」、「確かな学力」を育むことが必要です。

### 「確かな学力」とは、

知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの

### 【評価に関する基本的な考え方】

《各教科の評価について》

○本校で作成している各教科の評価規準に基づき、絶対評価による評価を行っています。

各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価します。

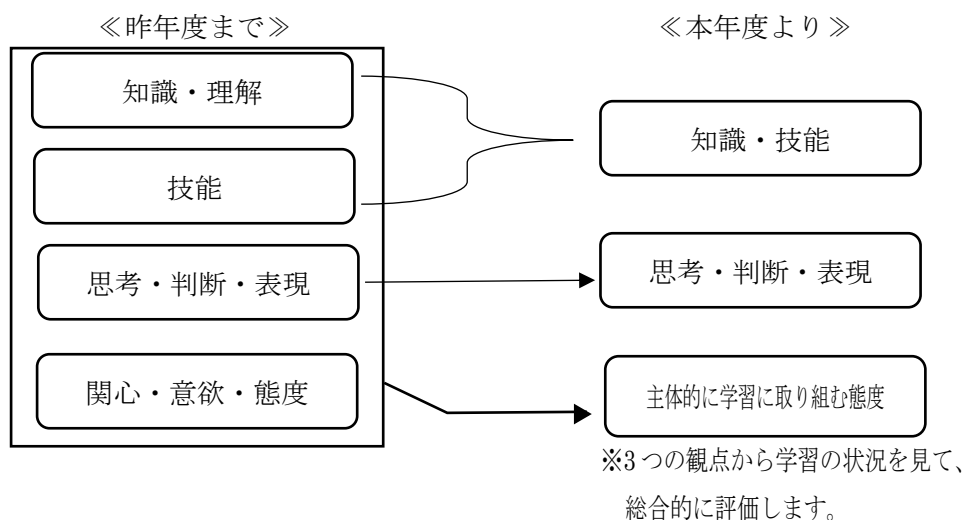
観点別学習状況 A：「十分満足できる」状況と判断されるもの

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

C：「努力を要する」状況と判断されるもの

## ○評価の観点について

本年度より、これまでの4観点から3観点に変わります。



### 「知識・技能」

- ・各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

### 「思考・判断・表現」

- ・各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

### 「主体的に学習に取り組む態度」

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方などについて試行錯誤するなど自らの学習状況を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

## 《特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、外国語活動（3・4年生）の評価について》

- ・学習指導要領の目標や特質に応じて、学習状況を文章で適切に評価します。
- ・総合的な学習の時間に関しては、臨時休校により年度当初に計画していた1学期の単元が途中となるため、1学期の通知表の評価はいたしません。ご了承ください。

## ○評価の方法について

- ・各教科の学習活動の特質、評価の観点や評価規準、評価の場面や児童の発達段階に応じて、観察、児童との対話、発表等の発言やノート、ワークシート、学習カード、作品、レポート、ペーパーテストにおける記述等、様々な評価方法を的確に選択して、多面的・多角的に評価しています。

## ○指導と評価の一体化

- ・学習の実現状況を的確に把握し、励まし、資質・能力を伸ばすために評価を行います。一人一人に学習内容が確実に定着するよう指導と評価の一体化を図ります。

## ○行動の評価は「概ね満足できる」と「努力を要する」の2段階で評価します。